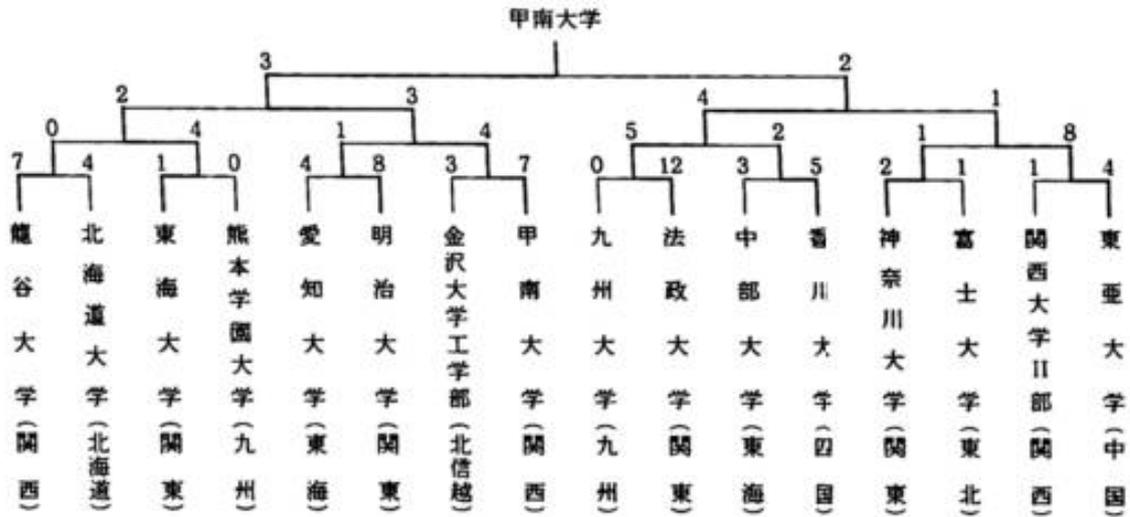


2005年

# 清瀬杯第37回全日本大学選抜準硬式野球大会

主催：全日本大学準硬式野球連盟  
 全日本大学軟式野球協会  
 会期：平成17年8月27日～31日  
 会場：石川県立野球場



(戦評) 一回、二回と甲南大は村上、平野のタイムリーとバッテリーミスから三点を先制。その後も四点を追加し、逃げ切った。金大工は九回に反撃するも二点止まりで惜敗した。ヒット十本打ちながらも大平・龍本の継投に押さえられた。

甲南大学	打	安	点	振	球
(8)	2	1	1	0	2
(8)	1	0	0	0	0
(4)	3	0	0	1	0
H	0	0	0	0	0
(2)	3	1	2	0	1
(7)	3	2	1	0	0
H	0	0	0	0	1
(6)	4	1	0	0	0
(3)	2	0	0	1	2
(9)	3	1	0	0	0
9	0	0	0	0	1
(5)	2	1	1	0	1
(1)	2	1	0	0	0
1	1	1	0	0	0
計	26	9	5	2	9

金沢大学工学部	打	安	点	振	球
(5)	3	1	0	1	2
(4)	4	1	0	0	0
(9)	5	2	1	1	0
(3)	4	0	0	2	1
(7)	4	1	0	1	0
(1)	4	1	1	1	0
(8)	4	1	0	0	0
(6)	3	0	0	2	0
H	1	0	0	1	0
(2)	4	3	0	1	0
計	36	10	2	10	3

一回戦  
 ◎八月二十八日 金沢市民野球場(第一試合)  
 金沢大学工学部 0 0 0 1 0 0 0 0 2  
 甲南大学 1 2 0 0 0 3 0 0 1 x  
 (金) 塚本一内藤  
 (甲) 大平・龍本―山下  
 ☆二塁打 村上・平野・田村(甲)

(戦評) 初回甲南大は山下、村上の連続タイムリーで二点を先制。二回に若根の本塁打で明治大は一点返すも、三回、五回に追加点を加えた甲南大が逃げ切った。明治大はチャンスを作るものの、甲南大の粘りのピッチングにあと一本が出なかった。

甲南大学	打	安	点	振	球
(8)	5	4	0	1	0
(4)	2	0	0	1	0
(2)	3	3	1	0	1
(7)	4	1	1	1	0
(6)	4	1	1	0	0
(3)	4	0	0	0	0
(9)	4	2	0	0	0
(5)	4	1	0	2	0
(1)	3	1	0	2	1
計	33	13	3	7	2

明治大学	打	安	点	振	球
(6)	3	1	0	0	1
(5)	4	0	0	1	1
(4)	3	0	0	1	1
(3)	3	3	1	0	0
(7)	3	1	0	0	1
(8)	3	1	0	1	1
(9)	2	0	0	1	0
H	1	0	0	1	0
(2)	4	0	0	1	0
(1)	0	0	0	0	0
H	1	0	0	0	0
1	1	1	0	0	0
1	1	0	0	0	0
計	30	7	1	5	4

二回戦  
 ◎八月二十九日 石川県立野球場(第一試合)  
 明治大学 0 1 0 0 0 0 0 0 0  
 甲南大学 2 0 1 0 1 0 0 0 0 x  
 (明) 川田・鶴葉・柳野―多胡  
 (甲) 大平―山下  
 ☆本塁打 若根(明)  
 ☆三塁打 山下(甲)  
 ☆二塁打 中島(明)

# 清瀬杯第37回全日本大学選抜準硬式野球大会

準決勝

◎八月三十日 石川県立野球場(第二試合)

甲南大学	0	2	0	0	0	0	1	0	0
東海大学	0	0	0	0	2	0	0	0	0
計	2	3							

(甲) 大平・山下

(東) 高林・川口・鈴木(康)・紺野

☆本塁打 紺野(東)

☆二塁打 田中(甲)、阿部(東)

甲南大学	打	安	点	振	球
(8)	平村	2	0	0	1
(4)	松山	0	0	0	1
(2)	山村	4	0	0	2
(7)	田村	4	1	0	1
(6)	田小	4	2	0	1
(3)	田西	4	2	0	1
(9)	野谷	1	0	1	0
(5)	野下	3	1	0	2
(1)	野上	4	1	1	1
計		32	7	2	11

東海大学	打	安	点	振	球
(4)	谷	2	0	0	1
(8)	木(景)	0	0	0	0
(7)	宮高	3	0	0	0
H	西	1	0	0	0
7	畑田	4	1	0	0
(8) <sup>4</sup>	松倉	4	1	0	0
(3)	部島	4	1	0	0
(5)	林口	4	2	0	0
(9)	野	3	1	0	0
(6)	高川	1	0	0	0
6	鈴木(康)	1	0	0	1
(1)	野	1	0	0	0
1	紺	0	0	0	0
1		3	1	2	0
(2)					
計		31	7	2	2

(戦評)二回表、甲南大は下位打線の3安打で二点を奪う。東海大は今大会初めて相手に先制点を許した。しかし、東海大は五回裏、紺野の二点本塁打で試合を振り出しに反す。甲南大は七回表に数少ないチャンスを確実なものにして、一点を勝ち越す。東海大はチャンスを作りながらもあと一本が出ず、一点差を守り切った甲南大が勝利した。

決勝

◎八月三十一日 石川県立野球場

法政大学	0	1	0	1	0	0	0	0	0
甲南大学	0	0	0	0	0	1	0	0	0
計	3	2							

(法) 吉井・笠井・高橋・吉田

(甲) 大平・山下

☆二塁打 大平・山下(甲)

法政大学	打	安	点	振	球
(6)	西野	3	0	0	0
(5)	野	4	2	0	1
(3)	下	4	2	0	1
(7)	上	5	2	1	2
(8)	中	4	2	1	1
(4)	野	3	1	0	0
(2)	村	4	0	0	0
(1)	田	4	1	0	1
1	平	2	2	0	0
(9)	橋	1	1	0	0
H	井				
9	田				
計		32	11	1	2

甲南大学	打	安	点	振	球
(8)	野	3	1	0	0
(4)	谷	5	2	0	1
(2)	下	4	2	0	1
(7)	上	5	2	1	2
(6)	中	4	2	1	1
(3)	野	3	1	0	0
(9)	村	4	0	0	0
(5)	田	4	1	0	1
(1)	平	2	2	0	0
H	橋	1	1	0	0
計		35	14	2	6

(戦評)二対一で迎えた九回裏、甲南大学は大平のヒットで相手投手のリズムの乱れを誘い、内野安打などで満塁としデッドボールで同点とする。続く村上のライト前ヒットでサヨナラ勝ちで優勝をきめた。法政大学は甲南大学先発の大平からヒット十本と奪戦したが得点に結びつかなかった。

2005年

## 清瀬杯第37回全日本大学選抜準硬式野球大会



### 清瀬杯優勝おめでとう！

清瀬杯を終えて

甲南大学準硬式野球部

監督 吉岡 環

九回裏同点に追いついて尚、一アウト満塁、バッター四番村上の打球が一塁手の横を抜け、逆転サヨナラ優勝が決まりました。ベンチの選手全員がグラウンドに飛び出し、喚起の高が起りました。思えば春のリーグ戦・選手権大会予選大会と苦しい試合が続きました。選手権大会には出場出来ませんでした。チーム目標を「清瀬杯優勝」に切り替え、今大会に臨みました。

一回戦を順調に勝った後は、関東のチームとの連戦でした。明治大学・東海大学・法政大学と強豪チームにどうしたら勝てるのか、連日連夜ミーティングを重ねました。試合に出る選手出ない選手全員が自分の役割を明確にし、戦ってくれました。一戦ごとにチームとして成長している姿が横にいて感じられ、選手一人一人が人間的にも逞しくなっているようでした。

キャプテン山下の選手としての高い能力だけでなくその強烈なリーダーシップがあったからこそこの優勝でした。特に法政大学との決勝戦では、一点ビハインドの五回のグラウンド整備中のミーティングで「絶対に勝てる！」と選手全員を鼓舞し、最終回の奇跡の逆転劇に繋がりました。

また、エース大平も四連投（うち三完投）と身体を酷使しながら最後まで投げぬいた姿は今後の我が野球部の伝説となることでしょう。

優勝した瞬間は、選手一人一人の頑張りに、応援してくださったOBを始め関係者の激励に、「感謝」という言葉が思い浮かびました。

監督として、また一人のOBとして特等席での瞬間を間近で見られたことは大きな喜びです。野球部として、また大学としても初の全国優勝となったことは今後の我々の大きな自信となり、このプロセスをもう一度体験すべく、チームとしての「基準」となりました。

これからも精進して大きな喜びを味わえるよう、その喜びを通じて人として成長できるよう、伝承していきたいと思えます。

ありがとうございます。

# 春季リーグ戦

◎三月二十五日 住之江公園野球場  
 神外大 4000000000  
 甲南大 0000100000  
 (外) 高瀬一林  
 (甲) 大平・龍元―山下昌  
 1

◎三月二十九日 住之江公園野球場  
 大経大 0000201000  
 甲南大 0011000000  
 (経) 竹本―丸山  
 (甲) 大平・山下真―山下昌  
 ☆二塁打 井上・丸山(経)  
 2

◎四月六日 久宝寺緑地公園野球場  
 和 大 10000000 1  
 甲南大 120015x 9 (7回コールド)  
 (和) 柏木―木村将  
 (甲) 山下真・竹安―山下昌  
 ☆二塁打 長尾(和)  
 ☆三塁打 平野・西田(甲)  
 ☆本塁打 村上(甲)

◎四月八日 久宝寺緑地公園野球場  
 兵大神 00010000 1  
 甲南大 0142001x 8 (7回コールド)  
 (兵) 石井・矢口―濱口  
 (甲) 大平・龍元―山下昌  
 ☆本塁打 村上(甲)

◎四月十一日 尼崎記念公園野球場  
 甲南大 000000110 2  
 近 大 10000103x 5  
 (甲) 大平・山下真―山下昌  
 (近) 横山・上原・原田―福田  
 ☆二塁打 村上・田村(甲)  
 ☆三塁打 白井2・福田(近)

◎四月十三日 尼崎記念公園野球場  
 甲南大 0005000000 5  
 神外大 0000200001 3  
 (甲) 山下真・安芸・龍元―山下昌  
 (外) 高橋・竹本一林  
 ☆二塁打 村上(甲)

◎四月十五日 尼崎記念公園野球場  
 甲南大 00000010001 2  
 大経大 01000000000 1  
 (甲) 大平―山下昌  
 (経) 福地・竹本―丸本  
 ☆三塁打 村田(甲)  
 ☆二塁打 村田・吉本(甲)

◎四月十九日 尼崎記念公園野球場  
 甲南大 30102220 8  
 兵大神 00000000 0 (7回コールド)  
 (甲) 龍元・竹安―山下昌・松本  
 (兵) 石井・矢口―濱口  
 ☆三塁打 田村・田中・龍元(甲)  
 ☆二塁打 山下昌2(甲)

◎四月二十一日 尼崎記念公園野球場  
 甲南大 004000014 9  
 和 大 000000100 1  
 (甲) 山下真・竹安―山下昌・松本  
 (和) 長尾―木村将・波多野  
 ☆三塁打 田中(甲)  
 ☆二塁打 田村・中橋(甲)、今井(和)

◎四月二十七日 舞洲ベースボールスタジアム  
 近 大 00000000 0  
 甲南大 000070x 7 (7回コールド)  
 (近) 原田・上原―福田  
 (甲) 大平―山下昌  
 ☆三塁打 白井(近)  
 ☆二塁打 上田(近)

優勝：近畿大学

順位		近 大	大経大	甲南大	神外大	兵大神	和 大
1	近 大	△	○	●	○	○	○
2	大経大	●	△	●	○	○	○
3	甲南大	●	○	△	●	○	○
4	神外大	●	●	○	△	○	○
5	兵大神	●	●	●	●	△	○
6	和 大	●	●	●	●	○	△

◎個人賞  
 最高殊勲選手 福田 篤志(近畿大)  
 最優秀防衛率 横山 創一(近畿大)  
 首位打者 小谷 健介(大経大)  
 打率○・四五八

○ベストナイン

投手 福地 涼平(大経大)  
 捕手 福田 篤志(近大)  
 一塁手 白井 洋平(近大)  
 二塁手 堀ノ内一博(近大)  
 三塁手 吉田 俊介(近大)  
 遊撃手 田中 豪(甲南大)  
 外野手 小谷 健介(甲南大)  
 井筒 智也(近大)  
 〃 鮫田小次郎(神外大)

○打撃十傑

1 小谷 健介(大経大) ○・四五八  
 2 田中 豪(甲南大) ○・四一四  
 3 堀ノ内一博(近大) ○・四〇〇  
 4 白井 洋平(近大) ○・三九四  
 5 平野 雅嗣(甲南大) ○・三八五  
 6 吉田 俊介(近大) ○・三八二  
 7 石井 一茂(兵大) ○・三八一  
 8 福田 篤志(近大) ○・三七七  
 9 長尾 知昭(和 大) ○・三六七  
 10 井筒 智也(近大) ○・三五五

# 秋季リーグ戦

◎九月九日 久宝寺緑地公園野球場  
 兵大神 00000000  
 甲南大 6201000x 9 (7回コールド)  
 (兵) 矢口ー浜口  
 (甲) 安藝・竹安・吉田ー松本  
 ☆本塁打 田中(甲)  
 ☆二塁打 中橋・松本(甲)

◎九月十三日 尼崎市記念公園野球場  
 甲南大 000000200  
 大経大 010211000x 5  
 (甲) 大平・龍元ー松本  
 (経) 井上ー丸山  
 ☆三塁打 平野(甲)  
 ☆二塁打 高野(甲)、佐古・小西・澤(経)

◎九月二十一日 尼崎市記念公園野球場  
 甲南大 100010000  
 近大 00001303x 7  
 (甲) 大平・安藝ー松本  
 (近) 上原・原田ー福田  
 ☆二塁打 吉田2(近)

◎九月二十七日 住之江公園野球場  
 神外大 00000000  
 甲南大 441000x 9 (7回コールド)  
 (神) 高瀬晃ー高田菜  
 (甲) 安藝・竹安ー松本・加柴  
 ☆三塁打 田村・田中(甲)  
 ☆二塁打 平野・中橋2(甲)

◎九月二十九日 尼崎市記念公園野球場  
 甲南大 102210003  
 和 大 000001010  
 (甲) 龍元・吉田ー松本  
 (和) 青木・尾崎ー岡本  
 ☆二塁打 松本・三木(甲)

◎十月三日 舞洲ベースボールスタジアム  
 和 大 000000  
 甲南大 02431x 10 (5回コールド)  
 (和) 中尾・尾崎・青木ー岡本  
 (甲) 安藝ー松本  
 ☆二塁打 小野(甲)

◎十月十四日 尼崎市記念公園野球場  
 大経大 000000001  
 甲南大 010000020  
 (経) 井上ー丸山  
 (甲) 龍元・大平ー松本  
 ☆二塁打 中橋2(甲)

◎十月十七日 舞洲ベースボールスタジアム  
 甲南大 45503  
 兵大神 02000 2 (5回コールド)  
 (甲) 安藝ー松本  
 (兵) 石定・森下ー濱口  
 ☆三塁打 松本・水田(甲)  
 ☆二塁打 松本(甲)

◎十月二十日 舞洲ベースボールスタジアム  
 甲南大 12110205  
 神外大 00110000 2 (8回コールド)  
 (甲) 安藝・吉田・竹安ー松本  
 (神) 竹本・高瀬晃ー佐本  
 ☆三塁打 田中・小野(甲)  
 ☆二塁打 平野2・松ヶ谷(甲)、鮫田(神)

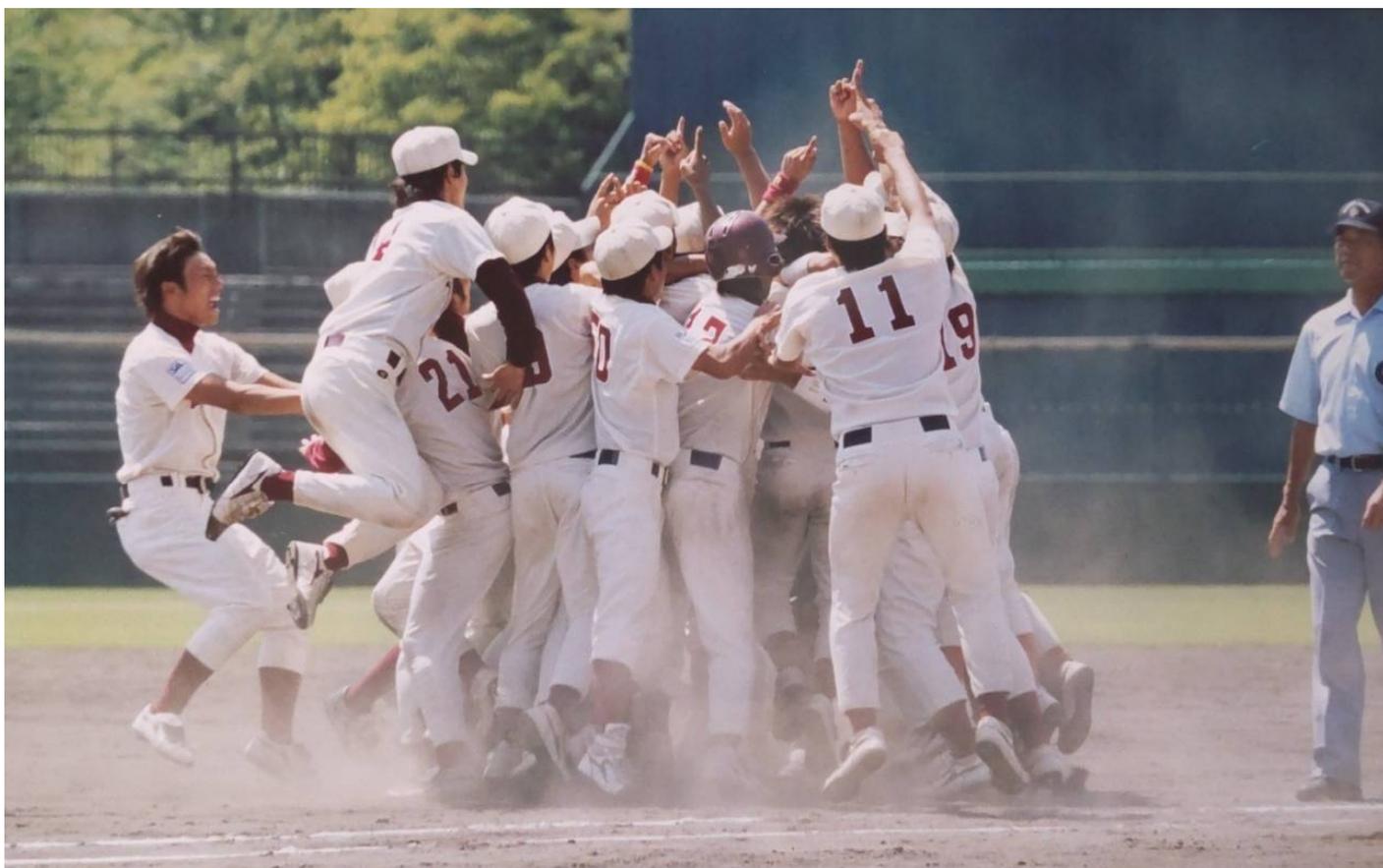
◎十月二十四日 尼崎記念公園野球場  
 近 大 010100020  
 甲南大 000001000  
 (近) 原田・上原ー福田  
 (甲) 龍元・大平ー松本  
 ☆二塁打 吉田(近)

順位		近大	大経大	甲南大	兵大神	和 大	神外大
1	近大	●○	○○	○○	○○	○○	○○
2	大経大	○●	●○	○○	○○	○○	○○
3	甲南大	●●	●○	●●	○○	○○	○○
4	兵大神	●●	●●	●●	●○	○●	○△
5	和 大	●●	●●	●●	●○	●○	○●
6	神外大	●●	●●	●●	●△	●○	○●

- ◎個人賞
- 最高殊勲選手 吉田 俊介(近経大)
  - 最多勝利投手 宇田 康人(大経大)
  - 首位 打者 大前 貴稔(近経大)
  - ベストナイン
    - 投手 原田 敏夫(近経大)
    - 捕手 松本大一郎(甲南大)
    - 一塁手 大前 貴稔(近経大)
    - 二塁手 中橋 慧(甲南大)
    - 三塁手 吉田 俊介(近経大)
    - 遊撃手 山口 貴生(近経大)
    - 外野手 奥 荘次郎(大経大)
    - 平野 雅詞(甲南大)
    - 岸 清悟(近経大)
  - ◎打撃十傑
    - 1 大前 貴稔(近経大) ○・五二四
    - 2 平野 雅詞(甲南大) ○・四八七
    - 3 吉田 俊介(近経大) ○・四八六
    - 4 矢口 裕也(兵神戸) ○・四五九
    - 5 田中 豪(甲南大) ○・四三八
    - 6 吉平 拓(大経大) ○・四二八
    - 7 奥 荘次郎(大経大) ○・四二四
    - 8 岸 清悟(近経大) ○・四一九
    - 9 木村 昂(和 大) ○・四一〇
    - 10 村田 翔(甲南大) ○・四〇七

2005年

# 思い出



清瀬杯第37回 全日本大学選抜準硬式野球大会 2005.8.27~ 石川県立野球場也



2005年

思い出



式野球大会 2005.8.27~ 石川県立野球場

オーダー表

平成17年 8月31日

チーム名 甲南大学

打順	背番	氏名(フリガナ)	背番	出身校(フリガナ)
1	8	平野雅詞(ヒラノ マサノ)	9	頌徳東(スズキコウ)
2	4	松ヶ谷卓矢(マツガヤ タクヤ)	17	福井商業(フクイショウギョウ)
3	2	山下昌起(ヤマノ マサキ)	10	高松商業(タカマツショウギョウ)
4	7	村上創太(ムラカミ ソウタ)	8	愛知(アイチ)
5	6	田中 叢(タナカ ヲサム)	3	明石西(アカシニシ)
6	3	小野正人(コノ マサヒト)	31	伊都(イト)
7	9	田村 智(タムラ トモ)	47	耐久(タイキウ)
8	5	西田和人(ニシダ カズヒト)	6	県伊丹(ケンイツ)
9	1	大平弘忠(オホヒラ ヒロユキ)	1	田辺(タナベ)

氏名(フリガナ)	背番	出身校(フリガナ)	氏名(フリガナ)	背番	出身校(フリガナ)
吉竹志朗(ヨシタケ シロ)	24	柏原(カハハラ)	竹中拓介(タケナカ タクケイ)	21	柏原(カハハラ)
吉本泰生(ヨシモト タイセイ)	50	北嶺(キタリネ)	龍本剛作(リウモト タツサク)	14	頌徳東(スズキコウ)
加藤俊平(カトウ シュンペイ)	22	太子(タチ)	中橋 慧(ナカハシ トモ)	4	伊丹北(イツノキ)
阪本一郎(サカモト イチロウ)	16	甲南(カウナン)	松浦 奨(マツウラ タカ)	37	英数学館(エイガク)
三木 康司(ミキ ヤスシ)	25	比叡山(ヒエヤマ)	松本 大郎(マツモト ダイロウ)	7	愛知(アイチ)
水田 潤(ミヅタ ユン)	5	三本松(ミホノマツ)	山下 真吾(ヤマノ マコト)	11	高松商業(タカマツショウギョウ)
村田 翔(ムラタ ショウ)	2	明石(アカシ)	吉田 隆之(ヨシダ リュウノ)	49	県伊丹(ケンイツ)
高野 雅洋(タカノ マサヨウ)	19	頌徳学園(スズキコウガク)	安藝 裕紀(ヤシキ ヒロノリ)	12	高松南(タカマツミナミ)
部長	西村 順二(ニシムラ ノリヒ)		監督	吉岡 環(ヨシオカ タマ)	
コーチ	王子 善章(オウジ タカアキ)		コーチ	尾崎 真哉(オノザキ マコト)	
記録員	用松 奈緒美(ヨウマツ ナオミ)		記録員	神澤 知代(カミザワ チカヨ)	



2005年

## 思い出

甲南大学準硬式野球部創部70周年を迎えました事に心よりお喜び申し上げます。

そして今、この歴史を繋いでいる現役選手の皆さん、監督、コーチ、OB・OG、大学関係者の皆様、この部に関わる全ての方々に心より感謝いたします。

準硬式野球部で過ごした4年間は私にとって忘れる事のできない大切な時間でした。

今、コロナにより活動が制限され大好きな野球を思うようにできず悔しい思いをしている現役選手には、どうか一日でも早く当たり前に野球ができる日常が戻ってくる事を心より願っております。

私たちの学年は4回生最後の夏、清瀬杯（全国大会）で優勝を経験することができた幸運な学年です。吉竹（副主将・体育会本部委員長）、西田（主務・サード・新人王）、村上（学連・4番・一塁兼投手）、吉本（外野手・代走・留学経験）、用松（マネージャー・留学経験）、山下（主将・捕手）の6名、このような経験をさせていただいた事に感謝しております。

先輩方との野球を通じて「野球を楽しむこと」「やらされるのではなく、自分たちでやる事の必要性」「仲間を思い助け合うこと」の大切さを学び、一日でも長くこの部でこの仲間と野球を続けたいと思い、そして笑って終わられるよう日本一を目指し最後の一年取り組みました。全日で優勝することを目標にしていたのですが、ブロック戦で近畿大学に敗戦し全日出場が無くなったとき終わった引退だと思いました。この時は悔しくて泣きました。練習で偉そうに「全日優勝する」と言って、地味で厳しい練習（ケースノックや走塁練習ばかり）を繰り返していた私のメニューは後輩に嫌われていたと思います。清瀬杯出場は決まりましたが自分は続けて良いのか悩みました。後輩の経験の為に、目標が達成できなかった自分が残っては駄目なんじゃないかと思い、試合後4回生で話し合い辞めるか続けるか相談しました。話している時、ここでまだ終わりがたくない、野球を続けたいという諦めの悪い自分が皆を困らせたことを覚えています。いずれにしても私以外の5名は日頃から後輩に慕われ尊敬されている存在だったので、気にせず清瀬杯を目指せるはずだったのですが、私のかつてな「けじめ」として後輩に条件付きで続けさせて欲しいことを伝えました。その条件は、清瀬杯までの期間、私たちがサボっていたり、気が抜けているように見えたら『引退します、厳しい目で見てください。』というものでした。

近大戦の敗戦から清瀬杯の決勝の日まで、どうしたら負けない野球ができるのか、ここにいる仲間ともっと野球を続けるには、この時間を奪われず失われず、やり続けるためにはどうしたら良いか繰り返し考えました。これまでの野球人生、何度も悔しい敗戦を経験していたので、失敗の経験は豊富でした。その為やるべきことは明確であり、失敗してきた事を一つ一つ潰していく事が結果的に僅差での勝利に繋がったのだと思います。

諦めなければギリギリの勝負では負けない。この1球を踏ん張り我慢すればチャンスはあると信じた結果や思いが、チーム全員の勝利に繋がり、得られた喜びだったと思います。

受け入れ支えてくれた後輩、指導して下さった監督・コーチ、いつも応援してくださっていたOB・OGの方々には今でも感謝しかありません。

2006年卒 山下 昌起